

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和六年六月十三日発行（毎月一回十三日発行）

定価 五〇〇円

第993号

龍

跳

秋季昇段・級試験課題発表表

第八十卷

7
月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書

去來白雲心

子雀
畫



去來白雲心

宣示表

鍾 繇

尚書宣示孫權所求詔今所報所以博示
遠于卿佐必冀良方出於阿是芻蕘之
言可擇郎廟況繇始以疏賤得為前思橫
族貶睨公私見異爰同骨肉殊遇厚寵以至
今日再世榮名同國休感敢不自量竊致

尚書宣示孫權所求詔今所報所以博示遠于卿佐必冀良方出於阿是芻蕘之言可擇郎廟況繇始以疏賤得為前思橫所貶睨

公私見異爰同骨肉殊遇厚寵以至今日再世榮名同國休感敢不自量竊致愚

「宣示表」賈似道刻本について

漢末から魏晉へかけて楷書が成立する時期に現れた鐘繇は、王羲之、張芝などと共にその書品は古来最高のものとして尊ばれてきた。宣示表は傳來する鐘繇の書の代表的な作品の一つであり、古来より著名である。この宣示表の眞跡は、西晉時代に楷書をよくし、鐘繇や衛瓘を師としてやまなかつた丞相王導の家に蔵されていた。その後王羲之の所に傳わり、王羲之が王修に貸し、没後、棺の中に入れて葬つたため眞跡は滅んだ。後世の傳來するものは、王羲之の臨書を経たものである。

廣末幽念臨

以劇郡今直罷任旅
食許下素為廉

山念修

市原處艸書

みづから 老のこころを
明るこそ

ささげて咲けり
くれなるの 藩緹

佐藤佐六朗句 乙卯年

梅
川
桂
龍
書

鞍馬去
孤城

鞍馬 あしば
孤城 こじょう を 去る

6 月 20 日 締 切

梅
川
桂
龍
書

草
木
歳
月
晚

草木
歲月
晚れ

7月20日縮切

福
原
曉
雲
書

明月素光流

めいげつ
そこう
をなが
す

福
原
曉
雲
臨

所求詔令所報

所求詔令所報

浜崎洋堂臨

君之海家度日
家法君之男經書

河本臨

西山極山臨

狀之請故得身畫凌煙
之閣名藏太室之廷

柳心之
印

江西澄翠書

中陰閑淡茶燭外
曉韻蕭疏睡雨中

澄翠書

市原處艸書

管下花世界如畫夢烟
雨樓臺以爲圖

市原處艸書

披之関之如揭雲霧兼
惠止觀妙門頂戴

中平美峰

随高祖文皇帝聞風
而悅徵赴京師

深瀬

深瀬緑堂

不顧班秩之高下不
论文武之左右

野中

野中恵花

篆榴謝安振在子敬
上真墨軸帽尾

明石

明石美桂

善惡而咸斡大哉大悲
能得議解少人美

武政

武政幽雅

遊梁定賦牧漁歌堪
畫要又有魯公陪

山脇

山脇佳月

正身受素帝不那時
梅迎客急先知

丸田

丸田宏子

定有情動形忘忘忘
風聲之定陽都

横田

横田紫秋

但有保法以修以物
月雲之得采以然

中城

中城康華

有立德其次有立功
是之謂不朽柳

横山

横山星舞

条幅当選作品 前田秀華 選評

★天位

中平美峰君 〓 少し小振りだが、風信帖を良く捉えています。

深瀬緑堂君 〓 丁寧で落ち着きあり。

野中恵花君 〓 着実な筆法で争坐位を無理なく臨している。

明石美桂君 〓 筆圧の変化ある厳しい線。

武政幽雅君 〓 大胆な伸びのある筆致佳。

★地位

山脇佳月君 〓 気負いのない素直な運筆。

丸田宏子君 〓 楽な運筆で品格があります。

横田紫秋君 〓 体が良く動き健康な書き振り。

★人位

中城康華君 〓 線質に力みがなく真面目。

横山星舞君 〓 争坐位を無理なく大らかに臨している。
これからも頑張ってください。

作品は毎月20日必着
(必ず守ってください)

▷ 次回審査会 ◁

6月の審査は23日(日曜)午前9時30分を開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

家庭学習

中学一年課題 廣末幽念 書

不
言
實
行

7月20日締切

小学六年課題

松崎緑花書

富士山

7月20日締切

小学五年課題

隅田亘心書

松の
風音

7月20日締切

小学四年課題

弘田賀峰書

広い

い

7月20日締切

小学三年課題

大原桂園書

花火

7月20日締切

せみ

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木 洋 女 書

うり

7月20日締切

学校名										
六年										
級段										
氏名										
	寒	け	人	教	時		ク			
	い	れ	、	室	間		ラ			
	よ	ど	何	の	を		ス			
	う		人	移	い		が			
	な	と	か	動	っ		え			
	心	き	の	に	し		あ			
	持	ど	友	連	よ		っ			
	ち	き	達	れ	に		た			
	に	す	が	立	過					
	な	う	で	っ	ご					
	る	す	き	て	す					
	。	う	た	行	人					
		と	。	く						

[illegible]

学校名							
四年							
級段							
氏名							
	り	も	わ	る	た		
	ま	や	り	物	こ	ま	
	せ	豆	に	と	ろ	だ	
	ん	や	配	い	の	戦	
	で	か	給	え	こ	争	
	し	ぼ	さ	ば	と	の	
	た	ち	れ		で	は	
	。	や	る	お	す	げ	
		し		米	。	し	
		か	お	の	食	か	
		あ	い	代	べ	っ	

小学三年課題 野中恵花 書

学校名										
三 年										
級 段										
氏 名										
	作	心	遊	ぐ	し		ず			
	ら	ぼ	ぶ	り	て		ぐ			
	れ	う	こ	は	楽		り			
	て	の	と		し		は			
	い	先	が	雪	む					
	ま	が	で	の	こ					
	す	太	き	上	ま		雪			
		く	る	で	で		の			
			よ	回	す		上			
		丸	う	し			で			
		く	に	て	ず		回			

がっこう	出	と	ぶ	さ	
	て	ん	つ	ん	風
ニ		な	か	っ	の
ねん	く		。	て	
だ	る	人	ほ	と	ゆ
きゅう	の	ぶ	か	ん	う
なまえ	か	つ	に	な	び
	な	が	は		ん
	。		、	人	や

小学一年課題

藤田桂苑書

がっこう				
	あ	と	す	
	じ	う	る	と
一	が	は	で	ん
ねん			し	な
きゆうだ			よ	
うん	し	あ	う	あ
なまえ	ま	ま	。	じ
	す	い	さ	が
	。		。	

7月20日締切

がっこう				
	ち	き	あ	ち
ほ ねん	よ	れ	お	よ
きだ ゆうん	う	い	む	う
なまえ	ち	な	し	ち
	よ		が	よ
	に			
	。			

秋季昇段級試験作品募集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

。課題

雨後江上緑 客悲隨眼新

桃花十里影 搖蕩一江春

雨後江上の緑／客悲 眼に隨つて新たななり／桃花 十里の影
／搖蕩す 一江の春

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ鐘繇宣示表より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。
。当選者は本会師範位に推挙する。

▽第一部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

獨出門前望野田 月明蕎麥花如雪

獨り門前を出でて野田を望めば／月明らかにして 蕎麥の花 雪の如し

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ鐘繇宣示表より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。
。当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 (受験資格 一般部級位の者)

。課題

長門蝶舞多

長門 蝶舞多し

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。
。当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料 師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳」七月号掲載(七月二十日締切)の課題字句とします。

。規格は半紙。一人一点とします。

。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。

。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。

。出品料 五百円

※出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち込む場合は、八時三十分〜九時迄の受付です。

△作品の締切

△審査日時

令和六年八月二十九日(木) 必着のこと。
令和六年九月一日(日) 午前九時三十分より

△審査場所

高知城ホール

△受験作品送付先

〒七八三〇〇八一 南国市片山四九〇 西山極山 宛

⑦ 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

親朋盡

一哭

富永

親朋盡

一哭

中谷

親朋盡

一哭

美九

親朋盡

一哭

和美

親朋盡

一哭

江口

親朋盡

一哭

能登

親朋盡

一哭

仁陽

親朋盡

一哭

美九

親朋盡

一哭

常清

親朋盡

一哭

紅花

親朋盡

一哭

美九

親朋盡

一哭

松林

親朋盡

一哭

香屋 澤村 松浦 明子

親朋盡

一哭

忠美

親朋盡

一哭

紫秋

親朋盡

一哭

志津

親朋盡

一哭

石井

親朋盡

一哭

忠美

親朋盡

一哭

美九

親朋盡

一哭

松林

(一・二段目) 福原曉雲 選評

處艸君 抑揚ありて線も強い。

澄翠君 〓 まろやかで温かい作。品位

有。賀峰君 〓 練度高く、格調有り。

明子君 〓 規矩整然として気力充実の

作。眉州君 〓 達者で老連作。古典の追求

を願いたい。

竹山君 〓 几帳面で新鮮な作。古典の

追求を。

(二・三段目) 岡崎緑水 選評

秋桜君 〓 線に大小があり、安定感の

ある作。

紅花君 〓 小粒だが、作品が活きてい

る。惠泉君 〓 作品に統一感、安定感を感じ

る。

幽雅君 〓 落ち着きのある大らかな作。

美水君 〓 真面目な温かな作。

(三・四段目) 西山極山 選評

仁陽君 〓 線に強さを感じる。

美邦君 〓 無理なく書き温かな作品。

紫秋君 〓 よくまとめ安定した作品。

美草君 〓 力みなく温和な線。一哭す

ばらしい。

和美君 〓 ていねいに書き線の切味よ

い。美香君 〓 全体のまとまりよく明るい。

(四段目)

美枝君 〓 基本に忠実まじめにかけて

いる。

志津君 〓 字々流れよく書けている。

悦枝君 〓 線の切味よく観て楽しい作

品。

俞拜

一單

臣愚欲

望聖德

同契心

以又

第十三

特銀

臣愚欲

望聖德

新晴燕

雀多

音符鍾

磬鼓

驚砂

起空外

商賈

心肝

縣軍

城之

風之雲

書自天

或之迷

之科

漢之際

曹參

臣愚欲

望聖德

臣愚欲

望聖德

天下造

不使敲

昔者帝

嬌升

刑即道

之美不

新晴燕

雀多

魯郡

開國

(一・二段目)

梅川桂龍

選評

澄翠君 雅味あり、遊び心もあり樂しめる作。

里華君 堂々とした鐘繇の臨書で佳。

惠花君 力みなく安定した筆致の作。

雄山君 大胆な書きぶりで力強い。

眉州君 素直に臨して、明るさがある。

美泉君 一紙の雰囲気、趣きあり。

(二・三段目) 塚地桂峰 選評

廣峰君 明るく線の伸び良い。

悠道君 運筆良く明るい作。

妙慧君 動き大きく力強い。

輝代君 堂々とした作。運筆も良し。

啓助君 流れ良くまとまっている。

(三・四段目) 大八木洋女 選評

紫秋君 線伸びやかで心地良い。

仁陽君 いつも真面目に書かれている。

美邦君 力強く気持ちのいい作だと

思います。

伸枝君 リズム良く書かれていると

思います。

明美君 流れ良く、線に力もありま

す。

あや君 力強くもすつきりとしてい

ます。

(四段目) 岡林邦心 選評

悦枝君 鄭義下碑をよく捉えて良い。

志津君 安定した運筆で明るい。

虎之介君 建中告身帖をよく捉えて

(二段目) 中学部

深瀬緑堂 選評

風 君 〓 伸び伸びと気持ち良い作品です。
雄星君 〓 落ち着いて力強い作品です。
葉奈君 〓 行書の練習が良くできています。
真音君 〓 達者な筆使いで流れも名前も良い。
乙羽君 〓 元氣な作品ですが、もう少しゆつくり書きましよう。

(一・二段目) 小学六年

陽菜君 〓 落ちついた線で明るい。
綜 君 〓 まじめに良くまとめています。
仁貴君 〓 力強い線ですが、最後までゆつくり書いて下さい。
来夢君 〓 よくまとめているが、もう少し元氣に。
嘉奈子君 〓 のびのびとていねいに書いています。
聖愛君 〓 力強く書きました。
晴土君 〓 休いつばいに元氣よくまとめています。

(三・四段目) 小学五年

河村容舟 選評

リサ君 〓 のびやかで良くまとまっています。
菜乃君 〓 まじめに明るく書きました。
百叶君 〓 良くまとまっています。
改太君 〓 のびのびと書けています。
香月君 〓 落ちついて良く書けています。
倅空君 〓 堂々と書きました。
陽南子君 〓 ていねいに書いています。
萌羽君 〓 力強く書いています。
ころろ君 〓 堂々と良く書けています。
樹 君 〓 まじめに書けています。

(四段目) 小学四年

実咲君 〓 線強くよく書けています。
康介君 〓 元氣であかるい。

瀬川 芳功 四年 れたぐ 人形 あゆ みち	吉門 聖子 五年 れたぐ 人形 あゆ みち	すぎ 雅博 五年 れたぐ 人形 あゆ みち	須崎 聖佳 五年 れたぐ 人形 あゆ みち	須崎 聖佳 五年 れたぐ 人形 あゆ みち	須崎 聖佳 五年 れたぐ 人形 あゆ みち
--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

(一段目) 小学四年

蒼來君Ⅱ力強くまとまっています。

碧空君Ⅱ明るく書けました。

聖佳君Ⅱはじめで大らかです。

蒼馬君Ⅱよくまとまっています。

穂花君Ⅱバランス良く書けました。

蒼功君Ⅱ元気に書けました。

(二・三段目) 小学三年

香花君Ⅱはじめに書けています。

太希君Ⅱのびのびと書けています。

芳尚君Ⅱ堂々とした作品です。

紗雪君Ⅱいいねいに良くまとまっています。

朋希君Ⅱ自然体で大きく書け気持ちの良い作品です。

かなこ君Ⅱ力強くかけています。

こうき君Ⅱはじめな作品です。

(三・四段目) 小学二年

すず君Ⅱいいねいに書けています。

はるか君Ⅱのびのびと書けています。

です。ね。

れんたろう君Ⅱ力強く書けています。

はるま君Ⅱはじめに書けています。

あやと君Ⅱ元気に書けています。

いぶき君Ⅱ大きく書けて良くまとまっています。

かほ君Ⅱ思いっきりよく、書けています。

(四段目) 小学一年・ようち・ほいく

望未君Ⅱのびのびといいねいにかけています。

由菜君Ⅱ半紙いっぱい元気にかけました。

ゆいと君Ⅱちからづよくかけました。

こな君Ⅱかたちよくかけています。

佐竹江月 選評

初月 川淵 結衣
長岡 高芝 仁貴

あなたは、今日もあなたであり、明日もあなたであり続ける。た、た一つのかげがえのない存在です。と同時に、あなたは、あなた以外のすべてとつながっているのです。
……初月 六、九、〇、一、川淵 結衣

あなたは、今日もあなたであり、明日もあなたであり続ける。た、た一つのかげがえのない存在です。と同時に、あなたは、あなた以外のすべてとつながっているのです。
……長岡 六、七、〇、一、高芝 仁貴

あなたは、今日もあなたであり、明日もあなたであり続ける。た、た一つのかげがえのない存在です。と同時に、あなたは、あなた以外のすべてとつながっているのです。
……越知 六、五、〇、一、大原 留心

あなたは、今日もあなたであり、明日もあなたであり続ける。た、た一つのかげがえのない存在です。と同時に、あなたは、あなた以外のすべてとつながっているのです。
……大谷 北、六、三、〇、一、山崎 流依

越知 大原 留心
大谷 北 山崎 流依

大谷北 倉持 陽向
上分 梅原 百叶

あなたは、今日もあなたであり、明日もあなたであり続ける。た、た一つのかげがえのない存在です。同時に、あなたは、あなた以外のすべてとつながっているのです。
……大谷北 六、二、〇、一、倉持 陽向

新聞には、さまざまな種類のニュースがのっています。新聞を読むと、社会で起きていることへの興味が広がります。読み方を身につけて、生活や学習の中で生かしましょう。
……上分 五、八、〇、一、梅原 百叶

新聞には、さまざまな種類のニュースがのっています。新聞を読むと、社会で起きていることへの興味が広がります。読み方を身につけて、生活や学習の中で生かしましょう。
……上分 五、七、〇、一、田辺 蒼月

新聞には、さまざまな種類のニュースがのっています。新聞を読むと、社会で起きていることへの興味が広がります。読み方を身につけて、生活や学習の中で生かしましょう。
……長岡 五、六、〇、一、宮脇 改太

一ツ橋 田辺 蒼月
長岡 宮脇 改太

上分 田邊 璃音
吾桑 高橋芽生奈

新聞には、さまざまな種類のニュースがのっています。新聞を読むと、社会で起きていることへの興味が広がります。読み方を身につけて、生活や学習の中で生かしましょう。
……上分 五、五、〇、一、田邊 璃音

新聞には、さまざまな種類のニュースがのっています。新聞を読むと、社会で起きていることへの興味が広がります。読み方を身につけて、生活や学習の中で生かしましょう。
……吾桑 五、八、〇、一、高橋 芽生奈

「これは、レモンのにおいですか。ほりはたて乗せたお客のしんしが話しかけました。」「いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは、答えました。
……長岡 小四、七、〇、一、森田 実咲

「これは、レモンのにおいですか。ほりはたて乗せたお客のしんしが話しかけました。」「いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは、答えました。
……小高坂 四、六、〇、一、川西 康介

長岡 森田 実咲
小高坂 川西 康介

佐古 田村 健悟
久礼 こも田コモモ

「これは、レモンのにおいですか。ほりはたて乗せたお客のしんしが話しかけました。」「いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは、答えました。
……佐古 小四、五、〇、一、田村 健悟

「これは、レモンのにおいですか。ほりはたて乗せたお客のしんしが話しかけました。」「いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは、答えました。
……久礼 小四、四、〇、一、こも田 コモモ

「これは、レモンのにおいですか。ほりはたて乗せたお客のしんしが話しかけました。」「いいえ、夏みかんですよ。」松井さんは、答えました。
……浦内 四、二、〇、一、中平 澤里

野ねずみたちは、にこなすいて、目を開けたりとじたりしながらずうっと、とくべつメニールの雨の音につつまれていたのです。
……浦内 三、五、〇、一、正木 芳尚

浦ノ内 中平 澤里
浦ノ内 正木 芳尚

須崎 田村 紗雪
江ノ口 下村亜弥衣

野ねずみたちは、にこ
にこなすいて、目を開
けたりとじたりしながら
すうと、とくべつメニ
ューの雨の音につつまれ
ていたのでした。

野ねずみたちは、にこ
にこなすいて、目を開
けたりとじたりしながら
すうと、とくべつメニ
ューの雨の音につつまれ
ていたのでした。

野ねずみたちは、にこ
にこなすいて、目を開
けたりとじたりしながら
すうと、とくべつメニ
ューの雨の音につつまれ
ていたのでした。

野ねずみたちは、にこ
にこなすいて、目を開
けたりとじたりしながら
すうと、とくべつメニ
ューの雨の音につつまれ
ていたのでした。

多ノ郷 坂本 大和
久礼 黒原 小春

すさき 金堂 すぐ
上分 吉村はるか

たんぼぼは、花と
じくを、しずかに
休ませて、たねに
たくさんのえいよ
うをおくります。

たんぼぼは、花と
じくを、しずかに
休ませて、たねに
たくさんのえいよ
うをおくります。

たんぼぼは、花と
じくを、しずかに
休ませて、たねに
たくさんのえいよ
うをおくります。

たんぼぼは、花と
じくを、しずかに
休ませて、たねに
たくさんのえいよ
うをおくります。

うらノ内 岡林 ゆい花
うらノ内 山岡 みずき

くれ 下だに ことは
あそう うめばら ゆま

たんぼぼは、花と
じくを、しずかに
休ませて、たねに
たくさんのえいよ
うをおくります。

あさの
おひさま
うみから
おきだした。

あさの
おひさま
うみから
おきだした。

あさの
おひさま
うみから
おきだした。

あそう まつさかのぞみ
おおノこう さかもとみさき

うらノうち みやた いと
ふぞく えがしらこう

あさの
おひさま
うみから
おきだした

あさの
おひさま
うみから
おきだした

あさの
おひさま
うみから
おきだした

あさの
おひさま
うみから
おきだした

かみぶん なかじまゆいと
すさき こんどう こな

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

★新規

五級編入
南国 川口虎ノ介
仁淀川 鶴井 未来

随
意

審査 梅川 桂龍

★師範

江西澄翠 岩河里華 野中恵花 弘田賀峰 西山極山 岡本空仁 大原桂園 岡林邦心 奥堂皓月 中平美峰 浜崎洋堂 深瀬緑堂 大八木洋女 河村容舟 萩野羽花 市原處艸 水田紅子

★準師範

岡田雄山 田村眉州 氏原美泉

横山桂華 岩崎碧山 窪田竹泉 井口花道 吉田深美 山本恵歩 森光望春 池芳春 松浦明子 西村芳香 高橋桜芳 田村和子 桑原智子 大崎紫陽 丸田宏子 小野山美喜 戸田孝北 藤原朱草 太平圭子 山中紅鳳 西森令泉 山西春草 大野美賀 高橋朱鳥 山川百合

審査 塚地 桂峰

★六段

小笠原廣峰 伊吹悠道 岡村妙慧 橋本祝子 浪上理奈 岩谷紅花

坂本碧香 下元玉泉 松本世津

★五段

鈴木輝代 濱田幸子 笠原多嘉 大井 翠 岡林 翠

★四段

西森啓助 濱田順子 山崎隆志 横山星舞 濱 恵子 滝下明美

審査

★三段

大八木洋女 横田紫秋 西岡仁邦 杉本美陽 中澤英子

★初段

前田伸枝 山尾明美 山中あや 後藤和美 井上由利子

第888回毛筆成績

○印は昇級

中学部

小学部

審査 深瀬 緑堂

三年

★特待生

朝ヶ丘黄之瀬 風 竹内雄星

二年

★特待生

朝ヶ丘 橋田榮奈 須南 前田真音

一年

★九段 鷺ヶ池 安井風葵

★七段 池川 藤原乙羽

毛筆六年

審査 深瀬 緑堂

★特待生

多ノ郷 森光陽菜

★九段

新莊 鍋島 綜

★八段

長岡 押岡風佳

★七段

長岡 高芝仁貴 上分 朝比奈来夢 長岡 二宮嘉奈子 多ノ郷 森岡快晴

★三段

別府 庄武聖愛

★一級

附属 三本晴士

毛筆五年

審査 河村 容母

★八段

多ノ郷 大城リサ

★七段

須崎 上分 松田菜乃 梅原百叶

★六段

長岡 川池 宮脇改太 鶴井香月 小松希美 谷口桜心

★五段

岡豊 島村倅空 長岡北村さくら子 多ノ郷 橋田天沔

★四段

長岡 須崎 竹内陽南子 田村拓海 柳本稀衣 田邊璃音

氏 名

臨書は出典名

(出品票)
のり代
6年
7月幅

★三段 岡豊 田所萌羽 吾桑 梅原蒼葉 ★二段 岡豊 中司こころ ★初段 別府 後藤 樹 毛筆四年 審査 河村 容舟 ★七段 長岡 森田実咲 ★六段 小高坂 川西康介 ★四段 吾桑 高橋蒼來 須南 田中碧空 須崎 津野聖佳 佐古 田村健悟 馬路 小松太緒 吾桑 松坂美緒音 須崎 金堂莉李	★二段 吾桑 吉門蒼馬 ★初段 吾桑 宮崎穂花 長岡 西内明利 長岡 小笠原 湊 ★一級 長岡 溝淵蒼功 ★五級 上分 中山結愛 毛筆三年 審査 佐竹 江月 ★五段 須崎 毛利香花 須南 西村太希 ★四段 浦ノ内 正木芳尚 須崎 田村紗雪 ★三段 上分 梅原未來	★二段 多ノ郷 太田朋希 長岡 竹内伽菜心 長岡 猪野光騎 岡豊 島村心遥 長岡 押岡息吹 ★初段 多ノ郷 森光梨衣奈 長岡 宮脇治太 ★一級 吾桑 長山優奈 ★四級 越知 藤崎かの ★九級 長岡 ○澤村郁菜 もうひつ二年 審査 佐竹 江月 ★三段 須崎 金堂すず ★二段 上分 吉村はるか	多ノ郷 森光れんたろう 須南 宮本はるま ★初段 しんじょう 中じまあやと 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 橋田かほ 上分はし田いちか ★一級 朝倉 根口心花 ★二級 岡豊 中司みのり 岡豊 島村昇牙 須南 田中にこ ★四級 須崎 谷口きずな もうひつ一年 審査 西森 令泉 ★初段 吾桑 松坂望未 ★八級 吾桑 ○梅原由菜	★九級 池川○掛水ゆいと もうひつ ようち・ほいく ★三級 上分 ○なかじまゆいと ★七級 ふたば○後藤和葉 須崎 ○こんどうこな ★九級 池川 ○鶴井遥都
--	---	---	---	--

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代		月定		地名		氏名		段級		のり代		月意	
6年7月		規定								6年7月		随	
												臨は出典名	
第687回硬筆成績 ○印は昇級 硬筆六年 特待生 新莊 鍋島 綜 多ノ郷 森光陽 菜 ★九段 初月 川淵結衣 浦ノ内 矢野蒼真 長岡 押岡風佳 藤沢 渡部一翔 ★八段 久礼 濱田 奏 ★七段 長岡 高芝仁貴 馬路 牛窓環 菜 上分 朝比奈来夢 多ノ郷 森岡快晴 ★六段 長岡 二宮嘉奈子 藤沢 駒崎愛恵 ★五段 越知 大原瑠心 浦ノ内 森田大翔 須崎 竹村奏佑 南 西山あい ★四段 上 加 政岡明里 ★三段 大谷北 山崎流依 須崎 川西桜空 城崎 持田和花 馬路 浅野由梨 ★二段 大谷北 倉持陽向 大谷北 大木柚杏 ★一級 附属 三本 晴士 硬筆五年 上分 多ノ郷 梅原百叶 多ノ郷 大城リサ 多ノ郷 松浦結菜 ★七段 一ツ橋 田辺蒼月 上分 小松希美 須崎 松田菜乃 ★六段 長岡 宮脇改太 久礼 森岡虹 須崎 谷口桜心 浦ノ内 美島希花 浦ノ内 松山翔 久礼 窪田茉優 長岡北村さくら子 長岡 竹内陽南子 浦ノ内 津野凌功 多ノ郷 橋田天冴 ★五段 上分 田邊璃音 浦ノ内 森田葵 越知 片岡杏璃 ★四段 須崎 田村拓海 浦ノ内 山本彩喜 上 加 政岡桃加 江ノ口 村亜李衣 上分 柳本稀衣 浦ノ内 山岡隼士 吾桑 梅原蒼菜 岡豊 島村倅空 ★三段 浦ノ内久保田健介 潮見 須賀勇介 上 加 岩田愛菜 浦ノ内 森田理央 ★二段 岡豊 中司ころ 岡豊 田所萌羽 ★初段 別府 後藤樹 藤沢 駒崎信慈 浦ノ内 中田翔音 ★八級 吾桑○高橋芽生奈 ★新規 八級編入 吾桑 ○堅田有咲 硬筆四年 ★七段 長岡 森田実咲 ★六段 小高坂 川西康介 須崎 谷脇愛來 ★五段 佐古 田村健悟 ★四段 久礼 薦田コモモ 須崎 金堂莉李 吾桑 高橋蒼來 久礼 今橋那ノ葉 須崎 津野聖佳 越知 米澤はると 吾桑 松坂美緒音 ★三段 浦ノ内 中平滯乃 馬路 木下歌乃													

[illegible]

のり代	
6年 7月 毛筆	
校名	
学年	
氏名	
段級	

のり代	
6年 7月 硬筆	
校名	
氏名	
段級	

第42回安芸全国書展

お知らせ

入選

大丸西堀廣福
石田山内末原
千宏極仁幽暁
施子山峰念雲

第69回須崎市展

特選
褒状
奨励賞
無鑑査

江野前野岡堀小松大田
西中田島崎内川浦崎中
澄恵秀桂緑仁理明花恵
翠花華山水峰香子梢風

中国文房四宝
国産書道用品
久保田号銘筆

有限会社 潤筆堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

第67回 龍 跳 書 道 展

会 期…令和6年6月25日(火)～同6月30日(日)

9:30～17:00 (最終日は15:00迄)

会 場…県立美術館 県民ギャラリー

※ 今回、下記学童の毛筆と硬筆の優秀作品(龍跳誌6月号)を上記書道展に展示致します。ぜひ、会場にお越し下さいまして、本会に所属する子供さんの作品も、ご覧いただければ幸いです。尚、入場は無料です。

			<u>毛筆の部</u>		
			<u>中学部</u>		
4 年生	須崎	谷口桜心	3 年生	朝ヶ丘	黄之瀬凪
	上分	小松希美		南	竹内雄星
	長岡	北村さくら子	2 年生	朝ヶ丘	橋田茉奈
	上分	田邊璃音	1 年生	鳶ヶ池	安井風葵
	須崎	田村拓海		上分	西森美陽
	吾桑	梅原蒼茉		鳶ヶ池	猪野雛子
	岡豊	中司ころ		池川	藤原乙羽
	別府	後藤 樹		越知	米澤知那
	長岡	森田実咲	<u>小学部</u>		
	須崎	金堂莉李	6 年生	多ノ郷	森光陽菜
	吾桑	高橋蒼來		新莊	鍋島 綜
	佐古	田村健悟		長岡	押岡風佳
3 年生	馬路	小松太緒		長岡	高芝仁貴
	吾桑	松坂美緒音		長岡	二宮嘉奈子
	須崎	津野聖佳		多ノ郷	森岡快晴
	吾桑	吉門蒼馬		上分	朝比奈来夢
	長岡	小笠原湊		上分	弘田美結
	長岡	溝渕蒼功		別府	庄武聖愛
	須南	西村太希	5 年生	多ノ郷	大城リサ
	浦ノ内	正木芳尚		須崎	松田菜乃
	多ノ郷	太田朋希		上分	梅原百叶
	長岡	猪野光騎		長岡	宮脇改太
	岡豊	島村心遥			
	多ノ郷	森光梨衣奈			
	長岡	宮脇治太			

長岡 宮脇改太
上ノ加江 政岡桃加

4年生 長岡 森田実咲
浦ノ内 中平滯里
大谷北 大木陽智
長岡 小笠原湊
池川 北村日和

3年生 浦ノ内 正木芳尚
須崎 田村紗雪
浦ノ内 池田理人
岡豊 島村心遥
上ノ加江 吉原あや人

2年生 須崎 金堂すず
上分 吉村はるか
浦ノ内 山岡みずき
浦ノ内 徳永はや斗
池川 上村心晴

1年生 吾桑 松坂望未
浦ノ内
よしおかまひろ
多ノ郷
さかもとみさき
浦ノ内 みやたいと
ふぞく
えがしらこう

ようち・ほいく
上分
なかじまゆいと
須崎 こんどうこな

越知 藤崎かの
長岡 澤村郁菜

2年生 須崎 金堂すず
上分 吉村はるか
多ノ郷
森光れんたろう

吾桑 高橋依吹
上分 橋田いちか
多ノ郷 橋田かほ
新莊 中島あやと

1年生 吾桑 松坂望未
吾桑 梅原由菜

ようち・ほいく
上分
なかじまゆいと
須崎
こんどうこな
ふたば 後藤和葉

硬筆の部

小学部

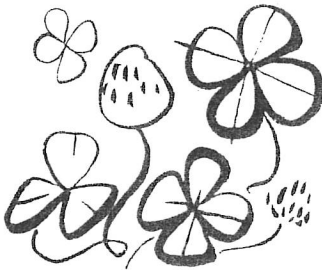
6年生 多ノ郷 森光陽菜
浦ノ内 矢野蒼真
久礼 瀨田 奏
長岡 二宮嘉奈子
大谷北 倉持陽向

5年生 上分 梅原百叶
多ノ郷 大城リサ
須崎 松田菜乃

※ 去る五月二十六日の審査会時に龍跳展の案内ハガキを
お配りしましたが、受け取られていない方は

編集室・江西（TEL〇八八九・四二・三〇六七）まで

至急ご連絡下さい。



連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳誌発行所 龍跳口密林

01690-3-31925

電話（〇八八九）三五〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話（〇八八）八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話（〇八八七）二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六―八

江西澄翠

電話（〇八八九）四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話（〇八八九）四七―〇七二一番

あとがき

一門展の新しい試み!!

四月・五月の審査会のあと、第六七回龍跳書道展出品作の下見会が行われました。近年、下見会でご指導いただいております先生が、相次ぎ他界され非常に寂しく感じています。今回は福原会長を中心にご指導いただきました。時には厳しい批評もありますが、皆さんは熱心に聞きながらメモを取っていました。楽しく興味深い指導でいつも勉強になります。

その一門展もいよいよ六月二十五日に始まります。作品点数は現会員の六十二点と歴代役員（故人）の作品九点。加えて、今回は新しい試みとして、龍跳誌六月号の学童・中学生部の写真版を中心に毛筆・硬筆の優秀作九十二点を展示します。

一門展のあと、県展や地方展など数々の展覧会が予定されています。

会員の皆さん、共に学書に励み、所期成果を上げることができるよう頑張ってくださいませんか。

月例競書課題

部 別	締切日	
	七月二十日 締切	八月二十日 締切
一般条幅	任意	任意
半紙規定	草木歲月晩	關河霜雪清
半紙随意	任意	任意
中学三年	家庭学習	競泳大会
二年		
一年	不言実行	海水浴場
小学六年	富士登山	高校野球
五年	松風の音	水車小屋
四年	広い海	北斗星
三年	花火	月光
二年	せみ	ぼん
一年	うり	なつ
保 育		

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (088) 865-18857

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 ：半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1 ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11冊以上は次の計算による。(1 ヶ月分)

①	1冊～3冊	80円
②	4冊～8冊	150円
③	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 ③+①=290円×月数

17冊 ③+②=360円× ”

30冊 ③×3=630円× ”

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室 福原 曉 雲

野 島 桂 山

江 西 澄 翠

中 平 美 峰

発行人 福原 曉 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所 龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所 (有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二〇二四四